

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 12月

令和3年12月1日の推計人口 1,295,063人
世帯数 556,868世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和3年12月1日現在の推計人口は、1,295,063人で、前月(1,295,871)に比べ808人の減少となった。

市部では、諫早市(27)、大村市(14)の2市で増加し、長崎市(△335)、佐世保市(△219)、南島原市(△49)、平戸市(△40)、雲仙市(△39)、西海市(△32)、対馬市(△29)、松浦市(△26)、壱岐市(△25)、五島市(△11)、島原市(△4)の11市で減少した。

郡部では、佐々町(16)、長与町(11)、小値賀町(7)、東彼杵町(5)の4町で増加し、時津町(△39)、新上五島町(△18)、川棚町(△11)、波佐見町(△11)の4町で減少した。

自然動態は、出生数718人、死亡数1,579人で861人の減少、社会動態は、転入者数2,395人(県内転入を含む)、転出者2,342人(県内転出を含む)で、53人の増加となった。

2 世帯数

令和3年12月1日現在の世帯数は、556,868世帯で前月(557,041)に比べ173世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計=R2 国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 10月

1人当たり現金給与総額 245,829円
対前月比 1.0%減少
対前年同月比 5.3%減少

1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は245,829円で、前月に比べ1.0%減少し、前年同月に比べ5.3%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は243,839円で、前月に比べ1.3%減少し、前年同月に比べ5.7%減少した。

特別給与額は1,990円で、前年同月に比べ、1,155円増加した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は147.9時間で、前月に比べ2.1%増加し、前年同月に比べ4.9%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は137.0時間で前月に比べ1.6%増加し、前年同月と比べ、5.0%減少した。

所定外労働時間数は10.9時間で、前月に比べ7.9%増加し、前年同月に比べ3.6%減少した。

3 雇用

10月の常用労働者数は219,462人で、前月に比べ0.6%増加し、前年同月に比べ4.4%増加した。

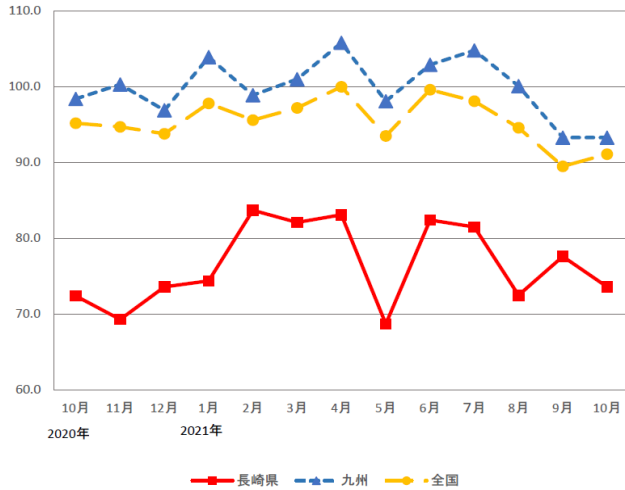
【鉱工業生産指数】……………10月

令和3年10月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	73.6	△5.2	77.1	0.1
九州	93.3	0.0	97.6	△7.0
全国	91.1	1.8	93.0	△4.1

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2021年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が73.6で対前月比は5.2%の減、原指数は77.1で対前年同月比は0.1%の増となった。

業種別にみると、電気機械工業、はん用・生産用機械工業、食料品工業など4業種が上昇し、輸送機械工業、繊維工業、電子部品・デバイス工業など9業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	36.5	交流発電機
はん用・生産用機械工業	7.9	ペンディングマシン
食料品工業	1.2	その他の調味料

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
輸送機械工業	△16.1	新造船
繊維工業	△6.7	漁網・陸上綱
電子部品・デバイス工業	△4.6	半導体集積回路

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………11月

総合指数(R2=100)

99.9

対前月比(%)

△0.2

対前年同月比(%)

+0.2

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、99.9である。

前月比0.2%の下落で、主な上昇要因は「光熱・水道」の+0.8%、「交通・通信」の+0.3%であり、主な下落要因は「諸雑費」の△0.2%、「住居」の△0.1%である。

前年同月比は、令和3年7月は△0.6%、8月は△0.3%、9月は+0.1%、10月は+0.1%と推移した後、11月は+0.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は99.8で前月比+0.1%であり、前年同月比は+0.2%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

光熱・水道	0.8%
被服及び履物	0.8%
交通・通信	0.3%
家具・家事用品	0.1%

▽同水準の費目

保健医療	±0.0%
教育	±0.0%

▽下落した費目

食料	△1.0%
教養娯楽	△0.6%
諸雑費	△0.2%
住居	△0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………11月

消費支出(一世帯当たり) 282,856円

前月比 36,206円増(14.7%増)

令和3年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は282,856円で、前月比14.7%の増、前年同月比は10.8%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は87.0%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。